

被災地と、みんなを結ぶ

2014年8月25日 No.30

つながるう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

報告パート2

〈第2弾〉
岩手→
静岡へ

東北の子ども応援わんぱくプロジェクト

〈第3弾〉
宮城→
大阪へ

前号でお知らせした、連合「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」の第2弾・第3弾を実施しました。

第2弾は8月1日～3日、2泊3日の日程で、岩手(宮古)っ子41名が静岡を訪問し、静岡っ子39名が元気よくお迎えしました。また第3弾は8月2日～4日、同じく2泊3日で宮城(石巻)っ子39名が大阪を訪問、18名の大阪っ子が温かくお迎えしました。

受入地方連合会による心のこもった手厚い準備のおかげで、大変充実した有意義なプログラムとなりました。また工場見学をはじめ、各構成組織の温かい全面的な協力体制、きめ細かい対応をいただき、参加した子どもたちから多くの喜びの声が届いています。

この秋には逆に東北3県で新潟・静岡・大阪の子どもたちを受け入れていきます。どうか皆さま、引き続きご協力と温かい声援をお願いします。

主なスケジュール

★第2弾 岩手→静岡

- 1日目：宮古からバス&新幹線で静岡(富士)へ、白糸の滝散策、富士山こどもの国へ、ゲームを通じて働くことを学ぶレク
- 2日目：静岡っ子と対面式、やくみつる応援団長の似顔絵教室、アドベンチャーラリー、バーベキュー、キャンプファイヤー
- 3日目：富士サファリパーク、不二家工場見学、お別れセレモニー、新幹線・バスにて岩手へ

★第3弾 宮城→大阪

- 1日目：石巻からバス&飛行機で大阪へ、サッカー教室、ガンバ大阪 vs 横浜F・マリノス観戦
- 2日目：大阪っ子と対面式、やくみつる応援団長の似顔絵教室、なんばグラウンド花月観劇、労働組合ゲーム
- 3日目：絆の集い、NHK見学、お別れの集い、飛行機・バスにて宮城へ

★思い出のアルバム in 静岡



左：バーベキュー大会
右：白糸の滝にて記念写真



不二家工場見学、ペコちゃんを囲んではいポーズ！



秋の再会を約束して絆ハイタッチ！

★in 大阪



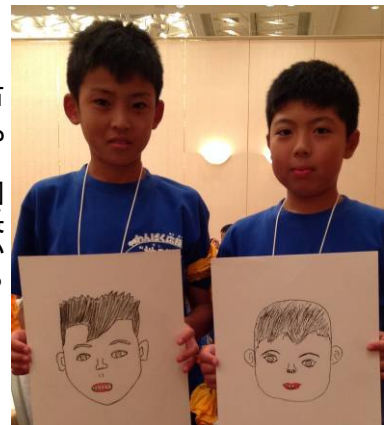
左：サッカー教室

右：サッカー試合観戦
選手と同じピッチで



左：やくみつる応援団長の
漫画教室

右：やく団長から
ベストペア受賞



“新しいお友達から
プレゼントされた似顔絵は宝物！”

連合の仲間の皆さん、
これからもわんぱくっ子を
応援してください！



～ほんの一部をご紹介します～

★子どもたちの感想文より

「(受入先に)友だちができて嬉しかった」

「たくさんの経験ができて楽しかった」

「最初は不安だったけど参加して良かった」

「(3. 11以降)まだ入れない海に入れて、たまらなく嬉しく楽しかった」

「(佐渡の海は)流されてしまった地元のながめに似ていて、少し昔のことを考えたりした」

「秋の再会が楽しみ！」

「ユニオニオン、大好き！」 など

★親御さんからの手紙や電話より

「普段家であまり話をしない子が、帰って来るなり旅先での出来事をいっぱい話した」

「初めて一人で旅をさせた。本人も親も不安だったが満面の笑みで帰ってきた。体験は一生の宝物になった」

「2泊3日で、とても成長して帰ってきた」

「連合の皆さんに心から感謝しています」 など

以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

被災児童と交流

富士で県内児童

クイズなど楽しむ

東日本大震災の被災地岩手県と県内の小学4～6年生が交流する「わんぱくプロジェクト」が2日、富士市桑崎の富士山こどもの国で始まり、バーベキューやキャンプファイア



やくみつるさん(右)から出題されたクイズと一緒に考える岩手、静岡両県の子供たち
＝2日午前、富士市の富士山こどもの国

などを通じて絆を強めている。連合静岡、連合岩手などが企画した。岩手県から招かれ、1日に本県入りした40人と、富士市、御殿場市など

県内の39人が合同で1泊し、友情を育む。雄大な富士山を望み、「すごく大きい。震災で大変だったと思っけど、少しでも元気になってもらえたら。皆さんと仲良くなりたい」と思いやる。

初日は漫画家やくみつるさんが来場し、お得意のクイズを出題して、出会ったばかりの児童を和ませた。岩手の子供たちは3日、富士サファリパーク(裾野市)や県内の工場を見学する。秋には県内の子供たちが古市などを訪ねる予定。被災現場も視察し、相互理解を図る。

↑静岡新聞(8月3日)

「石巻かほく(8月9日)」

↓新潟日報(7月30日)

サッカー教室に臨む石巻地方の子どもたち―大阪府



子ども応援プロジェクト

石巻っ子参加 大阪の夏満喫

被災地の子どもたちを対象とする「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」(連合本部主催)が、2日から3日間の日程で大阪府であり、石巻地方の子どもたちがさまざまな体験を通して夏休みの思い出をつくる。2日目は漫画家のやくみつるさんによる漫画教室が所属する小学4～6年生

約40人が参加。初日はJリーグガンバ大阪のコーチに誘われ、サッカー教室に臨み、基礎的なプレーの指導を受けた。ミニゲームを楽しんだ。夜はガンバ対横浜マリノスのゲームも観戦し、迫力あふれる試合を観た。自然災害への防災の意義を学んでもらうのが狙い。大阪の子どもたちには被災地を訪問する機会も。

また、11月に石巻を訪れる予定。

サッカー、漫画教室で交流

東日本大震災で被災した福島県など東北3県の子どもたちを支援している連合本部(東京)は25～27日、福島県の児童18人を本県に招待した。佐渡市では、海水浴やトキ観察などをして地元の子どもたちと交流した。

島の自然で元気「満タン」



一緒に海水浴を楽しんだ福島や新潟の子どもたち＝佐渡市

連合の被災地応援プロジェクト

福島の児童ら招き交流

連合は、全国の組員から寄せられた義援金を被災地に配分するなどの支援を行っている。本年度は体験を通して被災地の子どもを支援しようとの「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」を企画した。夏に東北3県の子どもを北陸や中部地方などに招き、秋には被災地以外の子どもが東北

佐渡市の真野海水浴場では、子どもたちが思い切り泳いだり、水を掛けあつたりして遊んだ。西三川ゴルフパークでは砂金探りを体験。福島の子どもたちは初めての子が多く、砂金が見つかるか「あった」と歓声が上がった。帰りには「また会おうね」「福島へも行くからね」と別れを惜しんでいた。